

人間関係論

責 任 者・コーディネーター		心理学・行動科学分野 香川 由美 助教	
担当講座・学科(分野)		心理学・行動科学分野	
対象学年	1	区分・時間数 (1 コマ 2 時間換算)	講義 20 時間 (10 コマ)
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・ねらい

「どうすれば好ましい人間関係を築くことができるか。」人は日々その方法を模索し、コミュニケーションの努力をしている。本科目では、社会心理学の理論を中心に人間関係に関する基礎知識を学び、周囲の人と良好な人間関係を築く力を修得することを目指す。

具体的には、人間関係の基本である「自己の理解」「対人関係」「集団の人間関係」の3つの観点から各回のテーマについて、自己分析やグループワークを通して学びを深めるアクティブラーニングを行う。グループは、医学部・歯学部・薬学部・看護学部のメンバーからなる4人グループを作る。(授業3回ごとに席替えを行う。) また、第7回と第9回の授業では、「ビブリオバトル」という書評ゲームを行い、各自の選んだ本の魅力を伝えたり聞いたりすることで相互理解を深める。

保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とどのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。第8回講義では、学外の小児科専門医を招き、医療現場における医療者同士のコミュニケーションや、医療者と患者・患者家族のコミュニケーションについて講話をいただく。

この科目を受講することで、自己理解を深め、自分の気持ちを我慢したり意見を押し通したりするのではない建設的なコミュニケーションを練習し、医療人として周囲から信頼されるリーダーシップの基礎を身に付けることができる。

・学修目標

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを身に付けることにより、自己理解を深め、周囲の人と良好な人間関係を築く力を修得する。

- (1) 自己概念について説明できる。
- (2) 対人認知に関わる要因について説明できる。
- (3) 集団と個人の関係について説明できる。
- (4) 集団意思決定について説明できる。
- (5) リーダーシップについて説明できる。
- (6) 自分と他者の特性を考慮に入れたコミュニケーション方法を実践できる。
- (7) アサーティブ・コミュニケーションについて理解し実践できる。
- (8) チーム医療における人間関係について説明できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

B-1-1 薬剤師に求められる倫理観とプロフェッショナリズム、B-1-2 患者中心の医療、
B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション、B-2-2 多職種連携、
F-5-1 医療・福祉・公衆衛生の現場で活動するための基本姿勢

・学修事項

- (1) 自己概念と自己評価を維持するための心の機能
- (2) 対人認知、対人魅力、対人葛藤に関わる要因
- (3) 集団意思決定の種類と特徴
- (4) リーダーシップの種類と特徴
- (5) アサーティブ・コミュニケーション
- (6) チーム医療における人間関係とコミュニケーションの役割

・この科目を学ぶために関連の強い科目

多職種連携のためのアカデミックリテラシー、医療における社会・行動科学、心理学

・この科目を学んだ後につなげる科目

医療面接の基礎、チーム医療リテラシー

・講義日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/4	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#1(1)授業ガイダンス、(2)人間関係論とは、(3)自己の理解① 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 - 人間関係論を学修する意義について説明できる。 - 自己概念について説明できる。 - 自己評価に影響を与える要因について説明できる。 - リフレーミングのスキルを実践できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べまとめる。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
9/11	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#2 自己の理解② 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 - MBTI(Myers-Briggs Type Indicator®)の基本理論について説明できる。 - 自己と他者のタイプを考慮したコミュニケーションを実践できる。

					事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
9/18	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#3 対人関係 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 対人魅力について説明できる。 2. 対人葛藤について説明できる 3. 自分の愛着スタイルの傾向を自己分析することができる。 4. 親密な関係の維持と崩壊に関わる要因について説明できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
9/25	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#4 対人関係②コミュニケーション 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 対人コミュニケーションのスタイルの種類と特徴を説明できる。 2. 自分のコミュニケーションスタイルを自己分析することができる。 3. アサーションについて説明できる。 4. アサーティブ・コミュニケーション法を実践できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
10/2	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#5 集団の人間関係① 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. 集団形成について学び、集団の人間関係に関わる要因について説明できる。 2. 集団意思決定の種類を学び、それぞれの特徴について説明できる。 3. ブレインストーミング法、コンセンサス法を用いた集団の意思決定を実践できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べままとめておく。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。

10/23	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#6 集団の人間関係② 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. リーダーシップの種類と特徴を説明できる。 2. リーダーシップのタイプを自己分析し、自分の強みと成長課題を把握できるようになる。 3. チーム医療に求められるリーダーシップの特徴を説明できる。 事前学修：講義で取り上げるキーワードについて調べまとめる。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
10/30	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#7 ビブリオバトル（クラスマッチ） 【プレゼンテーション】 1. 自分が選んだ本についてその魅力を分かりやすく伝えることができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. グループメンバーとの質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 事前学修：「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。自分のおすすめ本を選んでプレゼンテーションの準備をする。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
11/6	木	2	教育教育センター 心理学・行動科学分野	澤田 なおみ 非常勤講師 香川 由美 助教	#8 医療における人間関係①患者・患者家族を支えるチーム医療（小児科医療における Family-centered care の実践と研究） 【双方向授業】【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. チーム医療における医療従事者間、患者との人間関係について説明できる。 2. 小児科医療における Family-centered care の実践について実務者の講義を聴き、自分の意見を述べるができる。 事前学修：チーム医療が必要とされるようになった社会背景について、自分の考えをまとめる。

					事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
11/13	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#9 ビブリオバトル（ファイナルマッチ） 【プレゼンテーション】 1. 他クラスから選出されたファイナリストとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. ファイナリストの発表を聴くことで、説得力のあるプレゼンテーションのポイントについて自分の意見を述べることができる。 3. 質疑応答やジャッジを通して、これまでの授業で学んだ建設的なコミュニケーションを実践できる。 事前学修「スタナビ」のビブリオバトルのページを読んで理解する。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。
11/20	木	2	心理学・行動科学分野	香川 由美 助教	#10 まとめ 【双方向授業】 【グループワーク】 【ICT(WebClass)】 1. これまでの講義で得た知識と経験をもとに、良好な人間関係を構築する目的と方法について、自分の考えを説明できる。 事前学修：これまでの講義を復習する。 事後学修：講義内容を復習し、理解度チェックに取り組む。これまでの講義内容を総復習して WebClass の確認テストに取り組む。また、提示された課題についてレポートを提出する。

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	◎
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	○
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	

・評価事項とその方法

【総括的評価】

各回の提出物（50%）、レポート（30%）、確認テスト成績（WebClass を使った多肢選択式）（20%）で評価する。レポート課題と提出物の評価基準は講義時に提示し、基準に基づいて評価する。

【形成的評価】

講義毎に理解度チェックを WebClass で実施し、理解度、到達度を確認する。結果は WebClass からフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。

学修事項	DP	中間試験	レポート	確認テスト	定期試験	発表	その他	合計
1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	1,3		30	18			45	93
11	3			2			5	7
合計			30	20			50	100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論	山蔦圭輔、本田周二	南山堂	2021
参	補訂版 社会心理学	池田謙一他	有斐閣	2019
参	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011

・特記事項・その他

本科目では、各回の講義で人間関係を理解するために必要な社会心理学の概念を双方向授業によって学ぶ。各回の講義内容を WebClass の理解度チェックで復習する。各問題の正答とポイントは WebClass にてフィードバックする。また、各回講義の最後に提示する課題テーマについての考察をコメントシートとして提出する。解説とフィードバックは次回講義の初めに行う。
一部「医療と法律」「医療と物語」「パーソナリティ心理学」と横断的にビブリオバトルをおこなう。

講義最終日の事後学修として、WebClass で確認テストを実施する。結果は WebClass にてフィードバックする。科目全体のまとめとしてレポートを作成して WebClass に提出する。結果は WebClass にてフィードバックする。

事前学修：シラバスに記載されている次回の講義内容を確認し、授業で取り上げるキーワードについて参考書やインターネット等を用いて調べまとめておく。

事後学修：講義内容を復習したうえで理解度チェックを行い、理解が不十分であった事項については配布資料、参考書等を用いて理解を深める。

各コマに対して、事前・事後学修に 90 分以上を要する。更に、レポート作成に 10 時間程度、確認テスト準備に 5 時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

【その他】

- ・本科目では双方向授業、グループワークを行うが、方法については感染予防を鑑みて、状況に応じて適宜変更する。
- ・成績開示方法：成績確定後、希望者には結果開示と講評をおこなう。
- ・当該科目に関連する実務経験の有無 有
小児科専門医から、第8回授業において、患者・患者家族を支えるチーム医療（小児科医療における Family-centered care の実践と研究）について講義をいただく。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (Surface pro FJY-00014)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ型 PC (EPSON MR4800E)	1	講義資料の作成